

# 栄養教諭

| 観点                   | (主な要素)   | ステージ0   | ステージ1   |
|----------------------|--|---|---|
|                      |  | 着任時   | 初任期(1年～6年)  |
| 基本的<br>資質能力          | 使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。</li> </ul>   |
| 人権                   | 人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>   |
| 栄養教諭<br>としての<br>専門領域 | 学校給食の管理、食に関する指導、指導方法、指導技術、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、ICT活用、情報モラル教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食の役割について理解し、適切な栄養管理を実施しようとしている。</li> <li>○衛生管理の重要性について理解し、適切に実施しようとしている。</li> <li>○学習指導要領等や食に関する指導について、基礎的な知識と基礎的な指導技術を有している。</li> <li>○食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有している。</li> <li>○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を理解している。</li> <li>○生徒指導や教育相談の基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、業務改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> <li>○情報モラル教育についての基礎的な知識を有している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食実施基準に基づいた献立が作成できる。</li> <li>○適切な衛生管理の実施のため、調理従事者や施設設備の衛生等に関して日常的に点検・確認ができる。</li> <li>○学習指導要領等を理解し、食に関する指導の指導案を作成し、それに沿った授業ができる。</li> <li>○食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じて的確に対応できる。</li> <li>○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わるができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かした基本的な業務ができる。</li> <li>○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて指導できる。</li> </ul> |
| マネジメント               | 学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>   |
| チーム学校                | 他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>  |
| 京都ならではの教育            | 京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をすするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深め、給食の献立の作成や食に関する指導と関連付けられる。</li> <li>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>  |

| ステージ2  | ステージ3  | ステージ4   |   |
|--|--|---|---|
| 中堅期(7年～15年)  | 充実期(16年～24年)   | 熟練期(25年～)   | 【学校経営への参画】  |
| <p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。</p> <p>○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、教員として模範となる良識ある言動ができる。</p> <p>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。</p> <p>○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</p> <p>○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理ができる。</p>  | <p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。</p> <p>○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。</p> <p>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。</p> <p>○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲をもって積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</p> <p>○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に助言・支援できる。</p>   | <p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。</p> <p>○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。</p> <p>○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実につなげることができる。</p> <p>○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に指導・助言できる。</p>   | <p>○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動に繋がるよう指導できる。</p> <p>○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。</p>   |
| <p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。</p> <p>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。</p> <p>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</p>   | <p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。</p> <p>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</p>   | <p>○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。</p>  | <p>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。</p> <p>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</p>  |
| <p>○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成できる。</p> <p>○適切な衛生管理の実施のため、専門的な立場から他の教職員へ指導・助言を行うことができる。</p> <p>○学習指導要領等を理解し、教科・科目の指導内容と関連付けて食に関する指導を実施できる。</p> <p>○食に関する健康課題や栄養相談について専門知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じて、他の教職員と連携して的確に対応できる。</p> <p>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</p> <p>○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して積極的に対応できる。</p> <p>○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして効果的に業務を進めることができる。</p> <p>○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて的確に指導できる。</p> | <p>○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校にも積極的に発信できる。</p> <p>○学習指導要領等を理解し、児童生徒の学習段階や系統性も踏まえ、食に関する指導を的確に実施できる。</p> <p>○食に関する健康課題や栄養相談について高度な専門知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じて、他の教職員へ指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。</p> <p>○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、栄養教諭としての専門性を生かして積極的に対応できる。</p> <p>○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の栄養教諭に助言・支援できる。</p> <p>○情報モラル教育について、他の教員に助言・支援できる。</p> | <p>○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校を含めてのリーダーとして、積極的に助言できる。</p> <p>○近隣の学校と連携し、食に関する指導、食中毒や食物アレルギー等の健康課題への対応等について、地域全体に向けて自らの実践を発信できる。</p> <p>○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に助言できる。</p> <p>○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、他の教職員に対して栄養教諭としての専門性を生かした助言ができる。</p> <p>○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の栄養教諭に指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○情報モラル教育について、他の教員に的確に指導・助言できる。</p> | <p>○栄養教諭としての専門性を生かしながら、教育目標の実現に向けた取組について、校内全体の調整や進捗管理が的確にできる。</p> <p>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、教職員に指導できる。</p> <p>○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、教職員に指導できる。</p> <p>○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、関係機関とも連携しながら、見通しをもった対応の方向性を示すことができる。</p> |
| <p>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。</p> <p>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。</p> <p>○専門性と中長期的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>   | <p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。</p> <p>○専門性と中長期的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用し、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>  | <p>○校内のリーダーとしての自覚をもち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。</p> <p>○中長期的なカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>  | <p>○校長の方針のもと、明確なビジョンをもち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。</p> <p>○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。</p> <p>○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。</p>                                       |
| <p>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</p> <p>○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。</p> <p>○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。</p> <p>○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</p>  | <p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。</p> <p>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。</p> <p>○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</p>   | <p>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。</p> <p>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。</p> <p>○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</p>   | <p>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働して効率的な組織を構築できる。</p> <p>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進捗管理ができる。</p> <p>○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。</p>  |
| <p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。</p> <p>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための給食の献立の作成や食に関する指導を効果的に実践できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができる。</p>   | <p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。</p> <p>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための給食の献立の作成や食に関する指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p>  | <p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。</p>   | <p>○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。</p> <p>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための校内体制を構築できる。</p>                      |